

< Arduino 基礎学習シールド(Nano 用) Ver3 基板製作マニュアル >

この度は、当製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

基本的には、背の低い部品から取り付けると作業がやり易いです。できるだけ、このマニュアルの手順に沿って作業を行って下さい。

(1) 抵抗器の取り付け

抵抗器に極性はありません。「コ」の字に足を曲げて挿入します。

① 330 Ω (橙橙茶金) × 12本・・・7セグメント表示器の上下8本とLEDの下4本を取り付けます。

② 10k Ω (茶黒橙金) × 6本・・・タクトスイッチの下2本と基板下部4本を取り付けます。

(2) タクトスイッチの取り付け・・・足の位置(縦横)に注意して下さい。

足が曲がっていますので、ラジオペンチでまっすぐとしてから取り付けて下さい。

(3) スライドスイッチ(3pin) × 4個・・・3本足ですが、極性はありません。

(4) スライドスイッチ(6pin) × 1個・・・6本足ですが、極性はありません。

(5) LED(4個)・・・★極性に注意して下さい(上側がKカソードなので足の短い方となります) また、4本が同じ高さで斜めにならぬようにすると見栄えが良いです。

(6) 7セグメントLED表示器(C-551SR)を取り付けます。

(※上下が逆さにならないよう注意。下側に小数点がきます)

(7) ピンソケット(40Pin × 1個)

・・・15Pin × 2個をラジオペンチなどで折って作ります。10Pin分は余りです。

基板に着くまで差し込み、まっすぐと(足が斜めを向かないように)取り付けて下さい。
最初に1か所はんだ付けしたところで向きを確認・修正し、全てのピンをはんだ付けします。

(8) 圧電スピーカーの取り付け・・・SPと書いてある部分に取り付けます。極性はありません。

(9) ボリューム(VR)の取り付け

・・・3本の足をはんだづけします。回転させるときに力が加わりますので、しっかりと
はんだづけして下さい。

(10) ツマミの取り付け・・・ボリュームのシャフトにツマミを差し込みます。

(11) これで完成です。Arduino Nano 本体を差し込むときは、左右の向きに注意して下さい。

(12) 通常、6ピンのスイッチは「Normal」側にして使用して下さい。

Arduino 互換機を使用している場合などで、スケッチの書き込みエラーが出る場合は、
書き込み時のみ、「Write」側にすると改善できる場合があります。(D0番とD1番を切断)

【参考事項】

① ウェブサイト「はじめての Arduino」(<http://arduino.mx55.com/>)にある写真を参考にして下さい。

② 電話サポートは行っておりません。お問い合わせは arduino@mx55.com へお願いいたします。